

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年11月18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104401		
法人名	テルウェル西日本株式会社		
事業所名	NTTグループケアポート広島認知症対応型共同生活介護事業所		
所在地	広島市南区比治山本町11-1 (電話) 082-250-1280		
自己評価作成日	令和4年10月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104401-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年11月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居されている皆様には施設理念「支えあい共に創る生活」「月の目標」と生活リハビリという視点でイリコの頭取り、食事準備、盛り付け、食器洗い、食器拭き、お盆拭き、掃除、洗濯物たたみ、新聞折り、食事のメニュー書き、DVD体操など自らの得意分野で毎日の成功体験を積み上げ、人の役に立っているという充実感を味わい暮らしを共に楽しんでいる。スタッフと共にリビングの壁に季節感のある作品を展示しています。新型コロナウイルス感染予防対策のため外出行事、交流訪問中止ですが、室内での花見、クリスマス、ドリミネーション見物、畑での農作物の収穫を通じて四季を感じて頂いています。また、脳の活性化のため毎月のカラオケ、粧いの日には、化粧をされない方も口紅、マニキュア、アクセサリを自分で選んでスカーフ、浴衣着用を楽しんでもらっています。レクリエーション時の口腔体操、月4回の歯科衛生士による口腔内チェックと疾患予防にもなる毎食後の口腔ケアを行っています。認知症高齢者についての相談などに力をいれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「支えあい共に創る生活」をより実践する上で、生き生きと楽しみのある毎日を利用者に送っていただくために月ごとに目標を提示し、職員間で共有し、振り返りを行い継続した支援をしている。利用者の出来る事を引き出すために、食事作りや階段の上り下り、脳トレや体操など生活リハビリとして行っている。日中は布パンツで過ごし、利用者個々に合った言葉かけ誘導を行い、自立に向けて支援をしている。毎月のケアポート通信や担当職員による手紙など送付し、意見を聞く機会を設け、ケアプランに反映出来るよう取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症予防対策で外出が困難な中、花見弁当、おやつ作り、装いの日には、お洒落し写真を取るなど、笑顔を引き出す支援をしている。

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「支えあい共に創る生活」「月の目標」を毎朝のミーティングでスタッフ一同唱和し日常生活の中で共通の認識のもとに自然に実践できるように努めている。その日勤務していないスタッフには連絡ノートを使い情報共有を図っている。	行動方針の「利用者の目線に立ち、安心できる生活環境を創る」をより実践に繋げるため具体的に月ごとに目標を立て、全職員が意識を持ち実践している。又、振り返りを行う事で継続的に取り組んでいる。毎日の申し送り時に日々の体調変化やケアをする中での気づきなど連絡ノートで情報共有し支援をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事である盆踊り、子供会の亥の子祭、敬老の日やクリスマスは、近くの保育園児の訪問、中学生の2日間の職場体験学習は予定していたが新型コロナウイルス感染予防対策のため受け入れ中止、不参加としている。	地域の行事はコロナ禍で中止になり出来ていないが、敷地内の散歩や畑仕事、同じ敷地内にあるデイサービス利用者との日常的に声掛けをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括センター、来所や電話での相談に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の目安で開催している運営推進会議に家族、地域包括支援センター職員、民生委員、歯科衛生士、薬剤師にも参加してもらい取り組みの報告、地域や行政の情報を含め意見交換を行っているが新型コロナウイルス感染予防対策のため開催を中止し、行事については、中止の通知を行うとともに、資料を送付し意見を求めている。	新型コロナウイルス感染症予防対策の為に、運営推進会議は出来ていないが、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会会長、民生委員、薬局薬剤師、歯科医師などへ議事録、写真付きのケアポート通信を送付し、行事・活動報告、研修、事故報告を行い、意見を聞く機会を設けている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の資料、行事等の取り組みを積極的に伝えている。「南区の食と風土を考える会」の会員になっているが開催は中止している。	行政主催の研修や運営推進会議議事録を送付し、取り組み報告や不明瞭な点や疑問点の相談など情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルは作成しているが、今まで実施に至るケースはない。3カ月に1回身体拘束禁止委員会を開催している。	職員の外部研修や内部研修を通じて身体拘束による弊害など周知し、身体拘束マニュアルや身体拘束禁止委員会、チェックリストを活用し、全職員が認識して身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	スタッフを外部講習に参加させ学んできた事を伝達研修としたり、年2回部内研修を行い全員が理解するよう周知しミーティングや日常業務を通じて認識し合い施設としても重要な取り組みの1つとしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の趣旨、内容については最新情報と共に常に理解できるように努力している。必要性のある関係者には支援の制度の活用、相談に応じている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	運営規定、重要事項説明書、契約書の内容について丁寧に説明をし、日々の生活での個別対応や将来の希望などをお尋ねしてケアの方向性を一緒に考えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者は24時間携帯電話で相談に応じる体制にしている。ご利用者の状況は毎月担当スタッフからご家族に手紙で報告し来所時に説明し意見を頂いている。カンファレンスもご家族の希望の日時での開催を心がけている。(新型コロナウイルス感染予防対策のためご家族には、個別に説明をしている)苦情等の外部機関については重要事項説明書に記載し説明している。	新型コロナウイルス感染症予防対策での面会や毎月のケアポート通信、担当職員の手紙を送付し、意見や要望を聞く機会を設け、反映出来るよう検証している。又、いつでも電話で相談できる体制も整えている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関する意見、提案については日々の申し送り時や個人の意見、提案を聞く機会を設けている。毎月のミーティングは、新型コロナウイルス感染予防の為中止している。	毎日の申し送り時や日々介護する中で、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員のアイデアが脳トレなどに活かされ、日頃のケアの向上に結びつくなど、環境も整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	労働条件や評価については社内規定による。処遇改善手当もスタッフに還元している。自己研鑽の為に会社で費用負担して通信教育講座受講奨励や「資格取得奨励金制度」を設けておりスタッフの向上心を高める環境作りを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの資質向上は必須の為部内研修は関連業者のweb研修に参加している。できる限り部外研修に参加し学んだことを部内研修講師を務める事により深く理解し、いかにしたら分かり易く人に教えられるかの学びの場としている。但し、新型コロナウイルス感染予防対策の為、研修資料配布し各自感想を提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	「グループホーム事業者交流会」にも参加しており活動を通じて利用者の紹介、空き部屋状況の共有等ネットワークを構築している。介護や認知症、看取りのグループワーク、講演会、研修会にはスタッフをなるべくたくさん参加させている。但し、新型コロナウイルス感染予防対策のためweb参加としている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	安心・安全・快適な生活を送って頂くためご本人様の話をよく聞く。ご利用者様個別に担当スタッフを決めている。カンファレンスにご利用者様本人、ご家族の参加をお願いし本人希望や家族の希望を伺ってケアプランを立てている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>申し込み、見学があった時点からいつでも相談を受け付け入居にあたってはご利用者の状況とご家族の意見や希望をお聞きしケアプランで実行している。入居されたら暫くの間は毎日ご家族に状況を電話でお知らせしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様やご家族と意見交換しながら暫定ケアプランを策定しご利用者一人ひとりの状況と必要に応じて外出援助や通院介助や福祉用具等のアドバイスも行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>施設の理念そのままにご利用者様各自のレベルに合わせた生活リハビリを取り入れ、洗濯たたみ、イリコの頭取り、食事作り、食器洗い、食器拭き、テーブル拭き、掃除の手伝い、畑での農作物の収穫の手伝い、スタッフとの壁紙作成などをお願いしたり一緒に協力し合い生活を楽しんでいる。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の皆様にもご利用者様に対する「支援の在り方」として外食、行事の外出、墓参り、自宅への外泊、通院等に同行をお願いして本人の変化をご理解頂き一緒になって支えている。但し新型コロナウイルス感染予防対策のため面会を中止にしているため通院の同行のみお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族、ご親戚、知人、友人の方々が気楽に立ち寄って頂ける雰囲気がある。墓参り、外食、外泊、カーブ観戦、散歩、通院等、都合のいい時にいつでもどうぞとお願いしている。但し新型コロナウイルス感染予防対策のため面会を中止している。手紙や写真をこれまで以上に送って頂いたり、ズーム面会や電話も取り次いでいる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策の為、従来通りの面会は制限しているが、手紙のやりとりや電話の取り次ぎ、オンライン面会などが出来るように支援を行い、馴染みの人や場との関係継続に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングに出ておられる方が多いためおしゃべりに花が咲いたり、誕生日会、毎日のレクリエーションの席もお好きな所に座って頂いている。食事の席はおしゃべりを楽しんで食事ができるよう熟慮して決めている。起床やおやつ時声を掛け合っておられる。食事中は、テレビを消している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所されたご家族様から電話をいただいたり、来所されて近況をお知らせいただいている。また、他施設と連絡を取り合い繋がりを大切にしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスは基本的にご本人、ご家族様の参加をお願いしている。ご本人やご家族様の希望を聞いて担当スタッフのモニタリング、日々の生活を通じてスタッフの把握している事などもふまえて意見交換をしてケアマネジャーがまとめている。	日頃の会話から利用者の思いや要望を把握し、記録に残して情報共有している。思いの表出の困難な利用者は、日々の生活の中から、本人の表情や仕草を汲み取り、思いに沿ったケアプランに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴の把握が大切になるので入居前の聞き取りをしっかりと行っている。入居後は日常会話から情報を得て担当スタッフが本人の似顔絵と共に本人の思いを本人シートに書き入れ他のスタッフも聞き取った事を書き足している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝夕の申し送り、バイタル測定、入浴、排便、服薬、食事摂取量などをふまえ各自の心身の状況を詳しく申し送り、気を付ける情報を共有している。起床、就寝、食事時間、形状などは、ご本人の習慣、能力を考慮しており一人ひとりに適した生活リハビリを提案して日々の達成をチェック表に記入している。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様の担当スタッフがそれぞれ決まっており毎月モニタリングを行っている。主治医、歯科医、歯科衛生士からの情報も取り入れ、その人らしい生活の実現のためご本人様、ご家族様の意見や希望を取り入れケアプランを作成している。	利用者担当職員が情報収集や毎月のモニタリングをしている。身体変化に伴い見直しが必要であれば、家族の意見、医療関係者の情報や意見、職員の提案などを反映した、現状に即したケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日、オリジナルの日誌と個別の生活状況記録をつけている。連絡ノートにはご利用者様に関する事、ご家族様からの連絡事項、スタッフの周知事項等記入した連絡ノートでスタッフ間での情報共有に努め、小さな変化に直ぐ対応できるようにし、ケアの実践の中で生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	統一的ではなく個々の状況や要望に沿ってサービスメニューが変わる事がある。趣味、レジャーでの外出や催し物の案内、急な通院入院等必要な付き添いや介護タクシー・タクシーの手配の支援を行っている。デイサービスのレクリエーション参加は、新型コロナウイルス感染予防対策の為中止している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会、老人クラブ、消防署、中学校、保育園、地域保健センター、地域包括支援センター、大学、ボランティアサークル等と連携しその人らしい生活が続けられるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	施設として提携医があるが、ご本人様やご家族様が今までのかかりつけ医の往診を希望されたいらお願いし、病院の通院希望をされれば基本的には家族対応でお願いしてご本人様が安心して適切な医療が受けられるよう支援している。	利用者、家族の要望でかかりつけ医を決めている。提携医による週1回の往診、週1回の訪問看護、毎週歯科衛生士の口腔ケア、皮膚科の往診など定期的な往診により健康管理を行い、適切な医療が受診出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	内科ドクターが毎週月曜日往診と訪問看護師には毎週金曜に来てもらっており夜も含めて対応してもらっている。皮膚科、歯科医師の往診もお願いしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の入院・退院にあたってはお見舞いに伺い連携医、病院の地域医療連携室と情報交換をしながらご家族様の希望を聞きご本人様にとって最善の対策をたてられるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化された場合や費用面も含め、入居時に特養の申し込みはお勧めしている。看取りに関しては以前よりスタッフに研修を受講させ看取りも視野に入れて準備している。提携医、ご家族様とも相談して外部の受け入れ先のご紹介も行っている。	契約時に重度化した場合の指針、看取りに係る指針を利用者、家族に説明し同意を得ている。重度化した場合は主治医が状況を家族に説明し、多職種で情報共有し、今後の支援方針を検証し最善の支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署の指導による救急救命講習に参加したり提携医による高齢者に対する緊急時対応、処置についての研修を行って実践力を高める努力をしている。AEDも設置し使用訓練している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	深夜時間を設定して夜勤2名体制での消火避難訓練を実地している。災害対策物品の備蓄もしている。	年2回、消防署の指導を得て、夜間想定での避難誘導確認や実際に消火器を使用している。防災マニュアルを作成し、災害時ごとの検証をしている。非常時の持ち出し品や備蓄品（水、食料品など）の整備をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、人としての尊厳を守っていくことは企業としての理念であるためプライバシーマークを取得しており社内研修でも学んでいる。スタッフはその指針に沿ってミーティングを行い意識づけて行動している。	「人格を尊重しプライバシーの確保」について全職員が周知し、内外部の接遇研修や振り返りシートで意識を持ち、一人ひとりの生活歴や利用者にあった声掛けにより自分ペースで過ごしてもらえよう対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を大切にしていく取り組みは人格を尊重していくという方針と結びついており本人に寄り添ってお話を伺い思いを実現できるように支援している。レクレーション等も声かけにてお誘いするが自己決定にお任せしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、就寝時間は生活習慣に合わせてながら昼夜逆転にならないように生活リズムを徐々に整えるようにしている。生活リハビリを取り入れ役割を担って頂いている。食時に時間がかかる方はゆっくりと食べれるようご利用者様のペースに合わせている。それぞれの日々状況に沿った支援を心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節によって衣類を入れ替えたり外出等生活のTPOに合ったコーディネート支援している。出張理美容店によるカット、カラー、顔剃り等が施設内でできるようにしている。月に一度「粧いの日」を設け口紅、マニキュア、アクセサリーをご本人様が選んで身に着けて頂いている。スカーフ、浴衣、帽子のおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節感を味わえる献立や一人ひとりの体調や好みにも配慮している。食材によってはトロミ剤をつけたりミキサー食にしたり、おかずを一口大にして提供している。肉が駄目な方には魚や卵に替えそばが駄目な方にはうどんに替えて提供している。盛り付け、お茶入れ、下膳等はスタッフと一緒にやっている。	食材は外部注文であるが、畑で収穫した野菜が食材に加わり、季節感が味わえる献立としている。主食(麦飯)や昆布や鰹節を使用している汁物、月1回の手作り昼食には好物が提供されるなど、利用者と職員が一緒に行う食事作りやおやつ作り、下準備や下膳など食事を楽しみに繋げている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・水分摂取は一人ひとりに合わせて記録して状況を把握すると共に体調に合わせて食事内容を見直しておかゆやトロミ剤を使用したりしている。入浴後、起床時、レクレーション後、イオン飲料を用意したりゼリー、プリン、ヨーグルト、牛乳等に置き換えて摂取して頂く方もある。糖質0の飲み物を購入される方もおられる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後歯ブラシ、歯間ブラシ、義歯用歯ブラシを使って頂いている。難しい方はスタッフが行ったり仕上げの磨きのお手伝いをしている。義歯、コップ、歯ブラシも週1回消毒をしている。月4回歯科衛生士による口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表をつけて情報を共有している。排泄パターンや状況を把握してトイレ誘導をしている。日中は、下着着用をして頂き排泄の失敗をしなようさり気ない声掛けを行っている。また清潔を保つためホットタオルでの清拭も行っている。	利用者の排泄パターンを把握し、日中は布パンツを着用の方もおり、自立に向けた利用者にあった声掛け誘導を行い、トイレでの排泄支援をしている。また、排泄ケアの研修に参加している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排便チェックと共に食事であるべく野菜を多くとれる献立にして便秘の予防に努めている。水分もこまめにお勧めし便秘時には状態に応じて主治医より処方された薬も服用頂いている。毎日の体操や散歩、室内での歩行も有効と実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	原則的には1週間に2回の入浴としているが一人ひとりの気分や体調に合わせて日にちの変更をしている。シャワー浴、清拭、足浴等で対応している。皮膚科医の指示により石鹸の使用を中止したり、保湿剤を塗布して痒み等を予防している。	入浴は、週2回を基本としている。体調や気分に合わせて柔軟に対応している。入浴剤や音楽を流すなどリラックスできる雰囲気作りをしている。入浴後は保湿剤を塗布している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの生活パターンに 応じて自室のエアコン温度、布 団の調整、薬の服用、暖かい 飲み物を飲んでいただいたり している。ご利用者様によっ ては、夜間のみ紙パンツを使用 していただき良質の睡眠がと れるよう支援している。体力 のない方にはお昼寝も勧め ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬 の目的や副作用、用法や用量 について理解しており、服薬 の支援と症状の変化の確認に 努めている。	薬の知識を得るため提携薬 局の薬剤師による感染症の知 識と対応、薬の正しい服用、 効能について学習している。 新しい薬の処方があった時は 薬の解説と便覧を見たり申し 送り時にスタッフ間で変化に ついて情報の共有に努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとり の生活歴や力を活かした役割 、嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている。	毎日のレクリエーション、歌 、しりとり、風船バレー、掃 除、洗濯物干し・たたみ、お 盆拭き、いりこの頭取り、牛 乳配達、食事作り、食器洗い 等の生活リハビリでそれぞれ の役割を持っておられる。花 見、花火、盆踊り等の四季折 々の行事や畑で収穫する野菜 に季節を感じて頂き、散歩、 誕生日会を通じて潤いのある 生活の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	畑や隣接している公園に散 歩に行き、日常的に戸外の風 や空気に触れていた。但し4 月以降新型コロナウイルスの 影響で面会、外出禁止とさせ て頂いており施設の敷地内と 畑、ベランダにて過ごして 頂いている。	新型コロナウイルス感染症 予防対策の為、外出は困難に なっているが、ベランダに出 ての日光浴、敷地内の散歩や 畑仕事など、出来る範囲内で 日常的に四季を感じる支 援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの 支援 職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり 使えるように支援している。	財布を自分で持ちたいと言 われる方にはご家族様の依 頼により所持してもらって いる。使う使わないかわら ず財布を持っている事で精 神的に安定される方もお られる。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家のことが心配でご家族様に電話したい、と言われれば電話をお貸ししている。手紙の受け渡しも行っている。ズームを使用し居室で遠方の家族とも顔を見ながら談笑を楽しまれるよう支援している		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングに季節感のある生花を飾り、壁に毎月壁画を掛け替えて季節感を感じて頂いている。食事中はテレビを消して穏やかな音楽を流している。空気清浄機は年中、加湿器は冬場使用し湿度を60%に保つよう管理しながら使用している。	季節感のある飾り付けや食事をする際など、椅子にクッションや足台を利用し、安定した姿勢が保てるよう工夫している。台所はフローア全体が見わたせるよう設置している。座りっぱなしにならないよう、DVD体操やレクリエーション、階段の上り下りで筋力低下予防など、思い思いに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者様が一緒に過ごせるテレビ前のソファセットや離れて一人になれるテーブルと椅子や横になれる量のプラットフォーム、ベランダのベンチなど思い思いに過ごせれるよう工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内には使い慣れた筆筒や鏡台やテーブルと椅子、お気に入りの物、カレンダーや写真等ご本人様が寛いで過ごせる空間になるようにご家族様の協力も得て整えている。	使い慣れ親しんだダンスや鏡台、家族の写真や好みの物が配置され、時には職員と一緒に掃除など居心地良く寛いで過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内はご本人様の生活空間であり寛ぎのリビングルーム、食事スペース、レクリエーション空間、階段は機能訓練としても使用し多目的な生活・活動の場としている。能力に合わせて手すり、歩行器、車イス等を使って安全に移動出来るような広さを確保している。		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「支えあい共に創る生活」「月の目標」を毎朝のミーティングでスタッフ一同唱和し日常生活の中で共通の認識のもとに自然に実践できるように努めている。その日勤務していないスタッフには連絡ノートを使い情報共有を図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事である盆踊り、子供会の亥の子祭、敬老の日やクリスマスは、近くの保育園児の訪問、中学生の2日間の職場体験学習は予定していたが新型コロナウイルス感染予防対策のため受け入れ中止、不参加としている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括センター、来所や電話での相談に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回の目安で開催している運営推進会議に家族、地域包括支援センター職員、民生委員、歯科衛生士、薬剤師にも参加してもらい取り組みの報告、地域や行政の情報を含め意見交換を行っているが新型コロナウイルス感染予防対策のため開催を中止し、行事については、中止の通知を行うとともに、資料を送付し意見を求めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の資料、行事等の取り組みを積極的に伝えている。「南区の食と風土を考える会」の会員になっているが開催は中止している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束マニュアルは作成しているが、今まで実施に至るケースはない。3カ月に1回身体拘束禁止委員会を開催している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	スタッフを外部講習に参加させ学んできた事を伝達研修としたり、年2回部内研修を行い全員が理解するよう周知しミーティングや日常業務を通じて認識し合い施設としても重要な取り組みの1つとしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の趣旨、内容については最新情報と共に常に理解できるように努力している。必要性のある関係者には支援の制度の活用、相談に応じている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	運営規定、重要事項説明書、契約書の内容について丁寧に説明をし、日々の生活での個別対応や将来の希望などをお尋ねしてケアの方向性を一緒に考えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者は24時間携帯電話で相談に応じる体制にしている。ご利用者の状況は毎月担当スタッフからご家族に手紙で報告し来所時に説明し意見を頂いている。カンファレンスもご家族の希望の日時での開催を心がけている。(新型コロナウイルス感染予防対策のためご家族には、個別に説明をしている) 苦情等の外部機関については重要事項説明書に記載し説明している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関する意見、提案については日々の申し送り時や個人の意見、提案を聞く機会を設けている。毎月のミーティングは、新型コロナウイルス感染予防の為中止している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	労働条件や評価については社内規定による。処遇改善手当もスタッフに還元している。自己研鑽の為に会社で費用負担して通信教育講座受講奨励や「資格取得奨励金制度」を設けておりスタッフの向上心を高める環境作りを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの資質向上は必須の為に部内研修は関連業者のweb研修に参加している。できる限り部外研修に参加し学んだことを部内研修講師を務める事により深く理解し、いかにしたら分かり易く人に教えられるかの学びの場としている。但し、新型コロナウイルス感染予防の為、研修資料配布し各自感想を提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	「グループホーム事業者交流会」にも参加しており活動を通じて利用者の紹介、空き部屋状況の共有等ネットワークを構築している。介護や認知症、看取りのグループワーク、講演会、研修会にはスタッフをなるべくたくさん参加させている。但し、新型コロナウイルス感染予防対策のためweb参加としている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	安心・安全・快適な生活を送って頂くためご本人様の話をよく聞く。ご利用者様個別に担当スタッフを決めている。カンファレンスにご利用者様本人、ご家族の参加をお願いし本人希望や家族の希望を伺ってケアプランを立てている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	申し込み、見学があった時点からいつでも相談を受け付け入居にあたってはご利用者の状況とご家族の意見や希望をお聞きしケアプランで実行している。入居されたら暫くの間は毎日ご家族に状況を電話でお知らせしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族と意見交換しながら暫定ケアプランを策定しご利用者一人ひとりの状況と必要に応じて外出援助や通院介助や福祉用具等のアドバイスも行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	施設の理念そのままにご利用者様各自のレベルに合わせた生活リハビリを取り入れ、メニュー書き、洗濯たたみ、イリコの頭取り、食事作り、食器洗い、食器拭き、テーブル拭き、掃除の手伝い、畑での農作物の収穫の手伝い、スタッフとの壁紙作成などをお願いしたり一緒に協力し合い生活を楽しんでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の皆様にもご利用者様に対する「支援の在り方」として外出、行事の外出、墓参り、自宅への外泊、通院等に同行をお願いして本人の変化をご理解頂き一緒になって支えている。但し新型コロナウイルス感染予防対策のため面会を中止にしているため通院の同行のみお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、知人、友人の方々が気楽に立ち寄って頂ける雰囲気がある。墓参り、外出、外泊、カーブ観戦、散歩、通院等、都合のいい時にいつでもどうぞとお願いしている。但し新型コロナウイルス感染予防対策のため面会を中止している。手紙や写真をこれまで以上に送って頂いたり、ズーム面会や電話も取り次いでいる。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングに出ておられる方が多いためおしゃべりに花が咲いたり、誕生日会、毎日のレクリエーションの席もお好きな所に座って頂いている。食事の席はおしゃべりを楽しんで食事ができるよう熟慮して決めている。起床やおやつ時声を掛け合っておられる。食事中は、テレビを消している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所されたご家族様から電話をいただいたり、来所されて近況をお知らせいただいている。また、他施設と連絡を取り合い繋がりを大切にしている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスは基本にご本人、ご家族様の参加をお願いしている。ご本人やご家族様の希望を聞いて担当スタッフのモニタリング、日々の生活を通じてスタッフの把握している事などもふまえて意見交換をしてケアマネジャーがまとめている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴の把握が大切になるので入居前の聞き取りをしっかりと行っている。入居後は日常会話から情報を得て担当スタッフが本人の似顔絵と共に本人の思いを本人シートに書き入れ他のスタッフも聞き取った事を書き足している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝夕の申し送り、バイタル測定、入浴、排便、服薬、食事摂取量などをふまえて各自の心身の状況を詳しく申し送り、気を付ける情報を共有している。起床、就寝、食事時間、形状などは、ご本人の習慣、能力を考慮しており一人ひとりに適した生活リハビリを提案して日々の達成をチェック表に記入している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様の担当スタッフがそれぞれ決まっております毎月モニタリングを行っている。主治医、歯科医、歯科衛生士からの情報も取り入れ、その人らしい生活の実現のためご本人様、ご家族様の意見や希望を取り入れケアプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日、オリジナルの日誌と個別の生活状況記録をつけている。連絡ノートにはご利用者様に関する事、ご家族様からの連絡事項、スタッフの周知事項等記入した連絡ノートでスタッフ間での情報共有に努め、小さな変化に直ぐ対応できるようにし、ケアの実践の中で生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	統一的ではなく個々の状況や要望に沿ってサービスメニューが変わる事がある。趣味、レジャーでの外出や催し物の案内、急な通院入院等必要な付き添いや介護タクシー・タクシーの手配の支援を行っている。デイサービスのレクリエーション参加は、新型コロナウイルス感染予防対策の為中止している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会、老人クラブ、消防署、中学校、保育園、地域保健センター、地域包括支援センター、大学、ボランティアサークル等と連携しその人らしい生活が続けられるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	施設として提携医があるが、ご本人様やご家族様が今までのかかりつけ医の往診を希望されたらお願いし、病院の通院希望をされれば基本的には家族対応でお願いしてご本人様が安心して適切な医療が受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	内科ドクターが毎週月曜日往診と訪問看護師には毎週金曜に来てもらっており夜間も含めて対応してもらっている。皮膚科、歯科医師の往診もお願いしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様の入院・退院にあたってはお見舞いに伺い連携医、病院の地域医療連携室と情報交換をしながらご家族様の希望を聞きご本人様にとって最善の対策をたてられるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化された場合や費用面も含め、入居時に特養の申し込みはお勧めしている。看取りに関しては以前よりスタッフに研修を受講させ看取りも視野に入れて準備している。提携医、ご家族様とも相談して外部の受け入れ先のご紹介も行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署の指導による救急救命講習に参加したり提携医による高齢者に対する緊急時対応、処置についての研修を行って実践力を高める努力をしている。AEDも設置し使用訓練している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	深夜時間を設定して夜勤2名体制での消火避難訓練を実地している。災害対策物品の備蓄もしている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重し、人としての尊厳を守っていくことは企業としての理念であるためプライバシーマークを取得しており社内研修でも学んでいる。スタッフはその指針に沿ってミーティングを行い意識づけて行動している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意思を大切にしていく取り組みは人格を尊重していくという方針と結びついており本人に寄り添ってお話を伺い思いを実現できるよう支援している。レクレーション等も声かけにてお誘いするが自己決定にお任せしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、就寝時間は生活習慣に合わせてながら昼夜逆転にならないように生活リズムを徐々に整えるようにしている。生活リハビリを取り入れ役割を担って頂いている。食時に時間がかかる方はゆっくりと食べられるようご利用者様のペースに合わせている。それぞれの日々状況に沿った支援を心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節によって衣類を入れ替えたり外出等生活のTPOに合ったコーディネート支援している。出張美容店によるカット、カラー、顔剃り等が施設内でできるようにしている。月に一度「粧いの日」を設け口紅、マニキュア、アクセサリーをご本人様が選んで身に着けて頂いている。スカーフ、浴衣、帽子のおしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節感を味わえる献立や一人ひとりの体調や好みにも配慮している。飲見込みしやすいようにトロミ剤をつけたり、おかずを一口大にして提供している。そばが駄目な方にはうどんに替えて提供している。お茶入れ、下膳、テーブル拭き等はスタッフと一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・水分摂取は一人ひとりに合わせて記録して状況を把握すると共に体調に合わせて食事内容を見直しておかゆやトロミ剤を使用したりペースト状にしている。入浴後、起床時、レクリエーション後、イオン飲料を用意したりゼリー、プリン、ヨーグルト、牛乳等に置き換えて摂取して頂く方もある。牛乳の宅配を利用されている方もおられる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後歯ブラシ、歯間ブラシ、義歯用歯ブラシを使って頂いている。難しい方はスタッフが行ったり仕上げの磨きのお手伝いをしている。義歯、コップ、歯ブラシも週1回消毒をしている。月4回歯科衛生士による口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表をつけて情報を共有している。排泄パターンや状況を把握してトイレ誘導をしている。日中は、下着着用をして頂き排泄の失敗をしないようさりげない声掛けを行っている。また清潔を保つためホットタオルでの清拭も行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日の排便チェックと共に食事なるべく野菜を多くとれる献立にして便秘の予防に努めている。水分もこまめにお勧めし便秘時には状態に応じて主治医より処方された薬も服用頂いている。毎日の体操や散歩、室内での歩行も有効と実施している。牛乳を便秘予防に飲まれる方もおられる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	原則的には1週間に2回の入浴、としているが毎日の方もおられる。一人ひとりの気分や体調に合わせて日にちの変更をしている。シャワー浴、清拭、足浴等に対応している。皮膚科医の指示により石鹸の使用を中止したり、保湿剤を塗布して痒み等を予防している。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	一人ひとりの生活パターンに 応じて自室のエアコン温度、布 団の調整、薬の服用、暖かい 飲み物を飲んでいただいたり している。ご利用者様によっ ては、夜間のみ紙パンツを使用 していただき良質の睡眠がと れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に努 めている。	薬の知識を得るため提携薬局 の薬剤師による感染症の知識 と対応、薬の正しい服用、効 能について学習している。新 しい薬の処方があった時は薬 の解説と便覧を見たり申し送 り時にスタッフ間で変化につ いて情報の共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている。	毎日のレクリエーション、歌、 パズル、風船バレー、ボール 投げ、掃除、洗濯物干し・た たみ、お盆拭き、いりこの頭 取り、メニュー書き、食事作 り、食器洗い等の生活リハビ リでそれぞれの役割を持って おられる。花見、花火、盆踊 り等の四季折々の行事や畑で 収穫する野菜に季節を感じて 頂き、散歩、誕生日会を通じ て潤いのある生活の支援をし ている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	畑や隣接している公園に散歩 に行き、日常的に戸外の風や 空気に触れていただく。但し 新型コロナウイルスの影響で 面会、外出禁止とさせて頂い ており施設の敷地内と畑、ベ ランダにて過ごして頂いてい る。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。	財布を自分で持ちたいと言わ れる方にはご家族様の依頼に よって所持してもらっている。 使う使わないかわからず財 布を持っている事で精神的に 安定される方もおられる。		

自己評価	外部評価	項目(2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家のことが心配でご家族様に電話したい、と言われれば電話をお貸ししている。手紙の受け渡しも行っている。ズームを使用し居室で遠方の家族とも顔を見ながら談笑を楽しまれるよう支援している		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングに季節感のある生花を飾り、壁に毎月壁画を掛け替えて季節感を感じて頂いている。食事中はテレビを消して穏やかな音楽を流している。空気清浄機は年中、加湿器は冬場使用し湿度を60%に保つよう管理しながら使用している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者様みんなと一緒に過ごせるテレビ前のソファセットや離れて一人になれるソファやリビングルームのテーブルに集まり雑誌や新聞を各自読んでおられたり、パズルをしながら談笑したり、思い思いに過ごして頂けるよう工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内には使い慣れた筆筒やテーブルと椅子、お気に入りの物、ラジオ、カレンダーや写真等ご本人様が寛いで過ごせる空間になるようにご家族様の協力も得て整えている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内はご本人様の生活空間であり寛ぎのリビングルーム、食事スペース、レクリエーション空間、階段は機能訓練としても使用し多目的な生活・活動の場としている。能力に合わせて手すり、歩行器を使って安全に移動出来るような広さを確保している。		

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 NTTグループケアポート広島

作成日 令和4年12月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ご利用者様の食事献立を家族に知らせてほしいと要望あり。	食事献立を家族に知らせることにより安心してもらう。	毎月の献立表を送付する。	1ヶ月後
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。